

付けた家はどのくらい？  
効果はあったの？

## 住宅用火災警報器

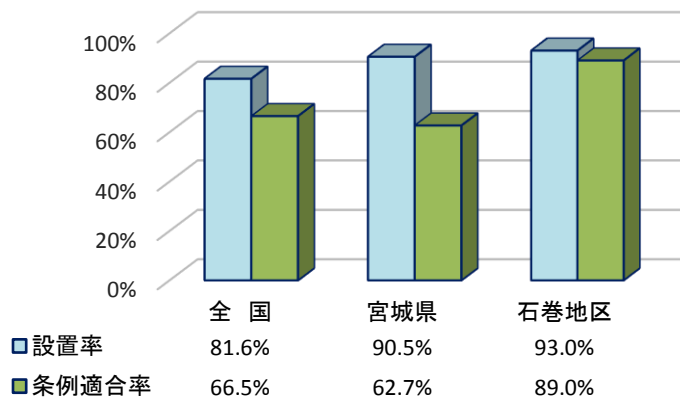


# の 設置率と奏功事例

平成23年6月1日に施行された消防法により、全ての住宅に設置が義務づけられている住宅用火災警報器の設置率と条例適合率について、平成30年6月1日時点での調査結果が総務省消防庁によりまとめられました。

石巻地区管内においても、平成20年6月1日に施行された火災予防条例により新築・既存を問わず全ての住宅に対する設置の義務化から10年を過ぎましたが、設置率と条例適合率は全国や宮城県と比較して高い水準となっています。

### 住宅用火災警報器の設置率と条例適合率（平成30年6月1日現在）



#### <設置率>

市町村の火災予防条例で、寝室・台所・階段に設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯の全世帯に占める割合をいいます。

#### <条例適合率>

市町村の火災予防条例で、寝室・台所・階段に設置が義務付けられている住宅の部分全てに設置されている世帯の全世帯に占める割合をいいます。

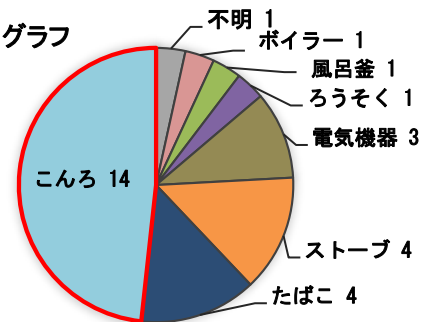
※どちらも、自動火災報知設備等の設置により住宅用火災警報器の設置が免除される世帯を含みます。

### 石巻地区の奏功事例はこれまでに29件。その状況は？

#### Q 鳴動したきっかけは？

こんろの火を消し忘れたために鳴動した事例が全体の約半数となっています。たばこの不始末や火種の落下、また、ストーブの近くにあった可燃物が燃えたために鳴動した事例もあります。

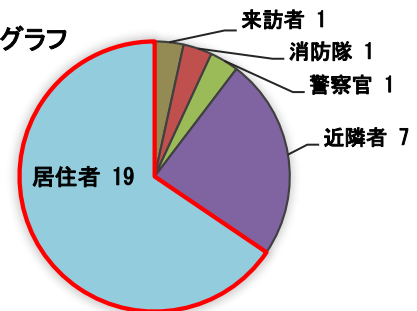
#### 発火源別グラフ



#### Q 音に気づいた人は？

居住者が全体の約3分の2を占めています。一方で、留守中に近隣者や訪問者が鳴動音に気づき、通報や初期消火を行っている事例もあります。

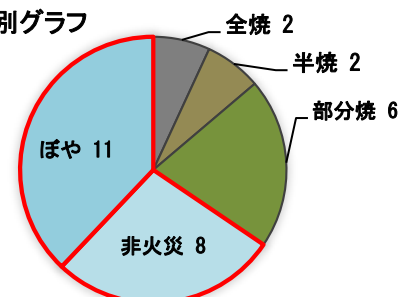
#### 覚知者別グラフ



#### Q その効果は？

火災にならなかったものと、ぼやで済んだものを合わせて全体の約3分の2を占めています。また、大きな火災になってしまったものでも、逃げ遅れずに済んだ事例もあります。

#### 焼損程度別グラフ





## 住警器奏功事例から、その一部を紹介します



| 年 月          | 時間         | 発火源  | 出火、鳴動、初期消火等の状況   | 結果  | 効 果          |
|--------------|------------|------|--|-----|--------------|
| 平成19年<br>9月  | 午後<br>5時頃  | こんろ  | 天ぷら油が発火したもの（行為人は外出中）。2階にいた居住者が鳴動に気づき、粉末消火器で初期消火した。   | ぼや  | 早期発見<br>早期消火 |
| 平成20年<br>7月  | 午後<br>2時頃  | 風呂釜  | 風呂釜の空焚きにより出火したもの。居住者は外出中であったが、郵便配達員が鳴動に気づき、通報した。   | 部分焼 | 早期発見         |
| 平成20年<br>11月 | 午後<br>11時頃 | たばこ  | たばこの吸い殻をごみ箱に捨てたため、出火したもの。居住者が鳴動に気づき、水道水を汲んで初期消火した。   | ぼや  | 早期発見<br>早期消火 |
| 平成22年<br>4月  | 午後<br>10時頃 | こんろ  | アパートの居住者が調理中に倒れたため、油の入ったフライパンから煙が出たもの。隣人が鳴動に気づき大家に連絡、駆け付けた大家がガスコンロの火を止めた。                        | 非火災 | 早期発見<br>被害軽減 |
| 平成25年<br>3月  | 午前<br>8時頃  | ストーブ | 石油ストーブ上に干していた洗濯物から出火したもの。居住者はトイレにいて鳴動に気づき、水道水を汲んで初期消火した。   | ぼや  | 早期発見<br>早期消火 |
| 平成26年<br>9月  | 午後<br>3時頃  | こんろ  | ガスコンロの熱により壁内部から出火したもの。調理中にその場を離れていた居住者（外国人）が、鳴動で火災に気づき、同僚（日本人）に連絡した。駆け付けた同僚が水道水を汲んで初期消火した後、通報した。 | ぼや  | 早期発見<br>早期消火 |
| 平成29年<br>4月  | 午前<br>11時頃 | 電気機器 | 居室にあるキャビネット内から煙が出ていたもの。居住者が台所で調理中、居室に設置していた住警器が鳴動したため火災に気付いた。水道水による初期消火に失敗したが、すぐに避難・通報した。        | ぼや  | 早期発見<br>早期避難 |
| 平成29年<br>7月  | 午前<br>9時頃  | 電気機器 | 2階寝室ベッド上の毛布が燃えていたもの。1階にいた居住者が階段部分に設置していた住警器の鳴動に気づき、2階寝室へ向かい火災を発見。すぐに避難し、通報した。                    | 半焼  | 早期避難         |

### ～ まとめ ～

設置率や条例適合率は、石巻地区圏域住民のみなさんが住宅用火災警報器の必要性を理解し、住宅からの出火防止に対し意識が高いことを表しています。

鳴動した状況や奏功事例は、住宅火災における「早期発見・早期消火・早期避難」に高い効果を発揮していることがわかり、火災による被害の軽減や命を守ることに直結していることを示しています。

しかしまだ、住宅用火災警報器の設置率・条例適合率ともに完全ではありません。

**設置していないお宅は今すぐ設置し、既に設置されたものについては正常に作動するよう日頃から点検・維持し、みんなで我が家の方が一に備えましょう！**

